

ハマハナヤスリ

Ophioglossum thermale Kom.

ハナヤスリ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地に限られ、個体数が少ない。(現況:RO)

形態

単葉を直立し、葉には栄養葉と孢子葉がある。両者は下部で共通柄となる。孢子葉の先端部は孢子囊穂となり、棒状になる。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

中能登区、南加賀区。

生態など

夏緑性の地中植物で、根は地中を広く広がり不定根を生ずる。根には菌糸が共生し、繁殖は不定根と孢子による。孢子は初夏に熟し始め、風で散布する。

生育環境

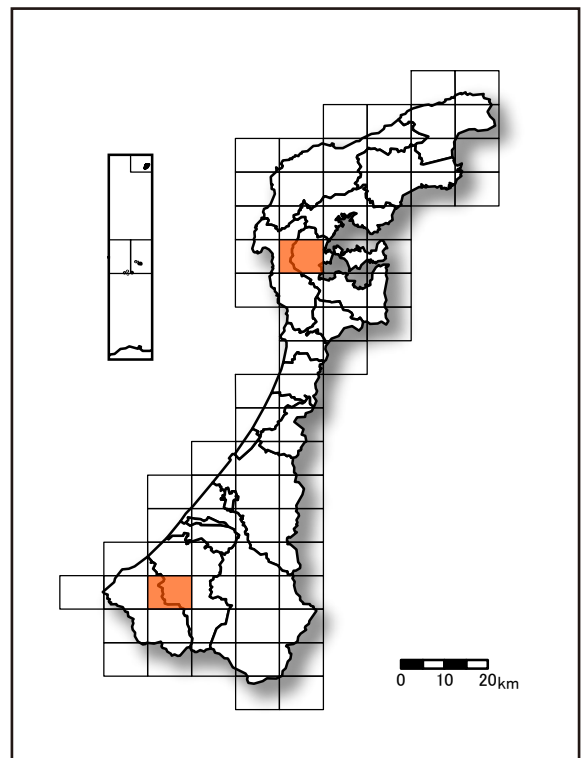
海浜の砂湿地や内陸の砂地。

危険要因

海岸開発。



林 二良・2006年7月25日・中能登



県内の分布